

(様式1)

令和5年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1)学校教育目標	夢や志の実現に向け、知・徳・体の調和のとれた心身ともに逞しい人間の育成と、自分で考え自分の意志で行動できる力を育む教育を推進する。
(2)現状と課題	本校生徒は、素直でおおらかで部活動にも熱心に取り組んでいる。生徒が自らの将来を見据え、主体的に学び行動する態度、相手の気持ちに寄り添った言葉遣いや適切なコミュニケーション能力の育成が課題である。進路は、就職から進学まで多様であり、基礎学力の向上、資格取得指導の強化が求められる。生徒の学習意欲を高め、主体的に取り組む姿勢を育てていく必要がある。
(3)重点目標	1 規律ある学校生活と豊かな心を育む【○基本的な生活習慣の確立 ○安全・安心な学校生活】 2 確かな学力を育む【○基礎・基本の徹底 ○教師の指導力向上】 3 夢や志の実現を支援する【○キャリア教育の充実】 4 地域校としての役割を果たす【○保護者との連携 ○地域・関係機関との連携】
(4)結果の公表	通知票に同封し郵送する。各種広報資料、学校ホームページ、PTA総会等において、学校教育活動の評価報告を公表する。

学校整理番号	22
学校名	青森県立六ヶ所高等学校
課程	全日制の課程

自己評価実施日	令和6年1月24日(水)
学校関係者評価実施日	令和6年2月9日(金)

(9)-イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員4名 ・学校医 1名 ・後援会理事長 1名 ・元PTA会員 1名 ・会社役員 1名

自己評価				学校関係者評価		
番号	(5)評価項目	(6)具体的方策	(7)具体的方策による目標の達成状況	(8)目標の達成度	(9)-ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10)次年度への課題と改善策
1	規律ある学校生活と豊かな心を育む	①挨拶の励行、服装の確立、時間厳守の徹底に取り組む。 ②すべての教育活動を通して、自己有用感の育成、部活動を通して、責任感、思いやりの育成に取り組む。 ③いじめの早期発見、対応、命を大切に教育、一人一人に寄り添った教育相談に取り組む。	①毎日、生徒指導部と生徒による登校指導を実施した。毎月第3週は、全教員による登校指導を実施し、日々の生徒の変化を確認し、生徒理解を図ることができた。 ②コロナ禍以前のように、学校行事、部活動を実施し、生徒に達成感を味わわせ、自己有用感、思いやりを育成することができた。 ③いじめ防止、支援・道徳委員会を開催し、いじめや問題行動の早期発見、対応のため、全教職員で情報共有を図り、未然防止を図ることができた。	B	①挨拶や服装など、しついでで学校は落ち着いた教育環境になっていると思う。継続的な生徒指導に取り組んでほしい。 ②自己有用感、思いやりに関する定量的な評価を行い、より効果的な教育を行ってほしい。部活動に対して、やる気のある生徒に目を向け、他校との連携を視野に入れた効率的な部活動運営を期待する。 ③今後もいじめに対して、教職員間で情報共有を行い、しっかりと取組を行ってほしい。	①登校指導において挨拶の重要性、容疑指導において服装を整える重要性をあらゆる場面を活用して指導していく。 ②学校行事や部活動でお互いを認め合う意識を持たせ、ルールを守る、主体的に行動できる生徒の育成を全教職員で取り組んでいく。 ③継続していじめ、問題行動の防止に取り組む、思いやりのある生徒の育成を全教職員で取り組んでいく。
2	確かな学力を育む	①学習意欲を高める「わかる授業」の実践、主体的、対話的で深い学びとユニバーサルデザインの視点に立った授業改善に取り組む。 ②ICT活用による学習向上、授業改善をJAET(日本教育工学協会)及び村と連携して取り組む。 ③公開・研究授業の実施、校内外の研修に積極的に取り組む。	①学習アンケートでは、ほとんどの生徒が「授業は楽しい」「わかりやすい」と回答していた。すべての教科において、工夫した授業を展開し、生徒が主体的に学べる環境を整えることができた。 ②全日本教育工学研究協議会全国大会において、すべての教員がICTを活用した実践的な授業を心がけ実践できた。 ③保護者や小中学校教員、地域の方に授業を公開し、教員の指導力向上、異校種との交流を図り、本校の存在意義を地域にPRすることができた。	A	①授業アンケート結果の少数意見に対しても、学校としてきちんと対応するようにしてほしい。 ②全日本教育工学研究協議会全国大会の公開授業により、全国の教員に本校のICTの活用を見てもらったと思う。より一層の活用の向上を期待する。 ③地域校としての役割、高校存続のため、具体的な指標を示し、保護者の要望等に対応する取組を必ず行ってほしい。	①今年度、学校評価アンケートをICTで行ったが、回答率がよくなかった。回答率を高め、アンケート結果を踏まえた教育活動を確実に行う。 ②学校全体として、ICTを活用した授業は向上した。次は、探究活動を充実させる取組を行う。 ③地域校としての存在意義を明確にし、小・中学校との情報交換、保護者や地域の方に効果的な学校公開、連携した活動を行う。
3	夢や志の実現を支援する	①三年間を見通した進路指導計画とその実践、学年に応じた総合的な探究の時間と連動したキャリア教育の実践に取り組む。 ②二者・三者面談を充実させ、生徒・保護者への情報提供と共有ができるよう取り組む。 ③就職支援、進学指導体制の充実に向けて取り組む。	①進路指導部と各学年とで年間計画を調整し、充実した進路指導を実践できた。総合的な探究の時間は、外部機関と連携した取組を行い、生徒のキャリア教育の充実を図ることができた。 ②生徒が主体的に進路選択ができるよう、進路指導部と学年が連携し、進路実現を図る取組ができた。 ③進路指導部と学年が連携し、朝学習を活用した就職・進学試験対策、放課後には、進学希望者に対する学力向上セミナーを実践できた。	B	①キャリア教育が充実したとは、どのようなときに感じられるものなのか、きちんと充実感を実感できるような指導を行ってほしい。 ②個人面談を通じて、生徒の進路希望の実現を図る取組を継続し、進路指導の充実をさらに図ってほしい。 ③学力向上セミナーが効果的であったかどうか、評価できる尺度を明確にした方がよいと思う。	①弘前大学、青森大学との高大連携を活用し、進路実現を目指したキャリア教育、探究活動を効果的に行う。 ②各学年とも早い段階で面談等を行い、生徒の進路実現に向け、主体的に取り組めるよう指導を行う。 ③スタディーサプルの利用率向上を図り、就職、進学における試験に対応できる力をつけさせるような取組を行う。
4	地域校としての役割を果たす	①学校新聞、学校ホームページ等による学校情報の積極的な配信に取り組む。 ②地域等との協働による「人づくり」の実践に取り組む。 ③地域校活性化協議会を踏まえた本校の活性化、教育環境の充実に取り組む。	①学校ホームページをタイムリーに更新し、最新の学校情報を発信できた。今年度、後援会の支援により学校紹介動画の作成ができ、ホームページ等により公開できた。 ②村内の外部機関から講師を招聘し、授業や特別活動において、地域や社会で積極的に役割を果たそうとする力を育成する取組が実践できた。 ③昨年度、策定した本校の活性化のための方策を実践し、教育課程の充実を図る取組が実践できた。	A	①学校紹介動画により、充実したホームページとなった。生徒が学校の特徴的な活動を発信できるようになれば、さらによいと思う。 ②地域と密接な連携を図り、社会貢献活動を行うなど、教職員が学校の存在意義をしっかりと持ってほしい。地域の人は協力を惜しまず生徒のために活動してくれる。これからも、感謝の気持ちを教職員、生徒とも忘れないでほしい。 ③昨年度多くの時間を費やして検討した方策を学校としてしっかりと受け止め、活性化に取り組んでほしい。	①ホームページに生徒の活動する動画を掲載し、保護者が関心を引き内容になるよう更新する。 ②地域に唯一の高校であることから、今後も地域の企業等と連携を図り、地域を愛する生徒の育成を行う。 ③教育課程委員会で、教科横断的な学習、探究的な学習を検討するなど、教育課程の面から本校の活性化に向けた取組を行う。

(11)総括	挨拶、服装については、自分自身の進路実現に向けて大切なことであることを理解させ、全教職員で取組むことができた。授業担当者がICTを活用した授業改善に取り組んだこと、全日本教育工学研究協議会全国大会での公開授業が実践できた。キャリア教育の充実のため、「おおもり創造学」の事業を総合的な探究の時間を活用し、地域課題、地域理解に取り組むことができた。本校の活性化のため、保護者、地域の企業等と連携した取組が実践できた。
--------	--